

眼藥別傳集

×

g 20

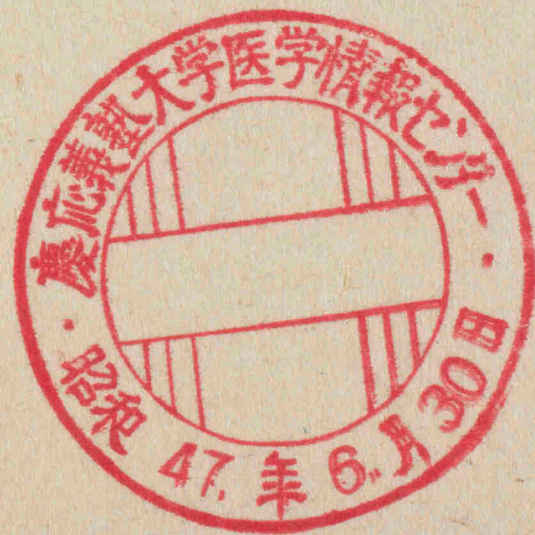
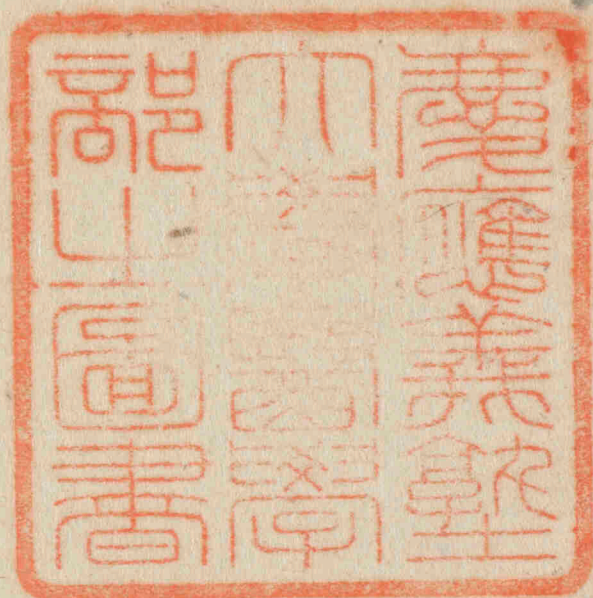
F
カ-116

490.9

Ga-13

No. 1593

12 2 20



富士川文庫

1080

目録

一 第一別傳

一 第二内藥

一 第三禁好物

一 第四内藥製法

第五 石藥製法

一 龍腦ハ少充何レノ藥ニモ加ル

一 石藥之内何ニテモシモサウナル其心持テ
以テ少充ヒカエル意モアリ

眼藥別傳集



一 秘密之掛藥候夢想云々

滑石

朱中

蛇膏

同

袋角

一朱

鹿角

一朱

白竜

一朱 各石ニ
ミヤリガ根ノ

牡蛎

二朱

雀子

二朱

天石

二朱
少減

石乳

朱中

炉井

一朱
一倍

菊名石

朱中但代ニ決明石
ヲ入シ

鴈砂

朱中

貝子

一朱

石膏

同

麒麟血

朱中

以上加減共二十味也

右ノ加減ニジミト云虫ヲ十于テスリツフシ合
大事ノ名藥や但一日ニ六七度充カウカイ耳
ニテサスヘシ

月之掛藥之事

但月生ノヨバキモノニハ一日ニ
廿五度

石膏 菊名 驢眼石一倍 明礬 角石

活石 竜石 蛇骨 葛根 竜脊 牡蛎

鳥賊 砭石 寒水石 竜腦 决明石

以上

龍腦散

外障ノ藥ニウニル目ニモヨシ

竜腦 朱中 明礬 辰砂 寒水石 一分

硝石 二朱中 貝子 麝香 一分

秋冬ハ入ナル春夏ハ
不入右ヨクスリ合ル

明珠散

ウハヒノスミ藥々スミ藥トハ右ノ掛藥ニテ寐
トキ用ユルニ一度サニテ置ク

石膏 一分 真珠 一分 鳳砂 一朱 雀巢 一朱

貝子 一朱 灵石 一朱 黃丹 少 光明朱 少

竜腦 少 麝香 少 以上如常

五靈膏

龍腦 一朱半 麝香 一朱 腦膽 一朱ノ二

鳳砂 一朱半 炉耳石 二朱 以上

煉藥之事

黃連 四兩 芍藥 二朱 防風 二朱 杏仁 二朱

右子リヤウ口傳ニアリ

辰砂丹 是モ煉藥ナリ

龍腦 一朱中 麝香 一朱 辰砂 一分 黃連 三兩

芍藥 二兩 防風 二兩 井中 少

右黃連芍藥防風井中四色ニ水三升入テ

天目一盃ニ煎メ縮ニテ三度コレテ赤金鎔ニ入テ

エセニメ製固メテアケテサニス竜腦シヤカウニシヤ

ヲ加エシ病目血道ノ目ニ用ニ右熊ノ膽エセンノ時縮

包ミ入セツルニ後ニ入ルニ但五靈香ニ入ル
寶明散 常ノ藥肉ニテ血アガリアツキ泪出ル

石決明 二朱

石膏 一分

灵天 一朱

光明朱 少

黄丹 少

麝香 少

光明朱 少

右摺テ合セテ用ヘシ

目瘡之藥

一土竜 一分

麝香 少 加ヘスリ合セ用之

目蛙之事

夕ニシノ黒燒ヲ乳ニテトキサスベシ是ハツ
キ目ノ事ニウツカサルハ梅ノスニテサスヘシ

目茸之藥

沈香ヲ煎シ出シ麝香ヲ加サスヘシ

目之付藥

黄壁 一兩

明礬 一分

寒水石 一分

右水ニテスリ合血ノ指引ノアル目ニサスヘシ
内ヘ入ヌヤウニ付ルナリ

頭下之事

巴豆 一兩

大黃 一兩

黃連 同

荊芥 同

香白芷 一兩

川芎 同

當歸 一分

木香 二分

其中一分

右抹メウス糊ニテ●是程ニ丸メ廿粒小児ハ
十粒湯ニテ用ヘシ療治ノ内七日ニ三度充
可_{アト}与但懷人ノ者ハ不可_{アト}与

眼病之名之事

目ヒル。目瘡。目茸。目肉。目アノ。

風毒。アケミトミ。ツリニケ。ハイニケ。ヤウ肉。

星目。タレ目。カニ目。ハイ目。ヤミ目。

内障。中ヒ。上ヒ。ソウニヨリ。大ウハヒ。

白ソコヒ。黒ソコヒ。青ソコヒ。黄ソコヒ。赤ソコヒ。

虚眼。ウキ目。ツキ目。

暖_{カニ}金_{キン}ニケノ大事

一 暖^{アタミ}リ人肌ナルハ血ヲノクル金ナリ

一 アツキハ血ヲヨスル金ニ是ハト、ヨリタルヲヨスル金ナリ

一 中ノ金ハ血ヲノクスナリ

ヒキ刀ノ大事

一 白眼ニ引カタナスルハ血玉ニヨリハ何ノ目ニモスヘシ

一 ヲドリカウツキヲ止ル取ニ

一 梅刀目セ々ノ有ツカフヘシ是ハ目ノ

ハタシ直スナリ何ノ目ニモ浅クツカフヘシ

一 三陰交ニ足ノウキ手一束ノ灸ニ女ノ血上リタルニヨシ

丁 虎膽散

一 竜腦^{ニ分} 寒水石^{ニ分} 滑石^{一分} 石膏^{二分}

薄貝^{ニ分} 但スウ貝^{ニ分}ノ事ニ天目ニ水ニ盃入テ半分ニ成ナリ

煎ルニ其後薬ニ入フタヲメ白クナルホト焼ナリ

右目瘡ウツクニ吉小兒ノ目俄ニ白ナリハ
癖之方ニ石決明子乳ニテトキテ鳥ノ目
サスヘシ但度々サスヘシ

鳥目之藥之事

雀ノ血ヲ目ヨリトギヤ香少入テスリ合サシ
サスヘシ鳥目トハ晝ノ七ツ時ヨリ見ヘスモ

目寒熱ノ見様之事

一下ハ赤クテ上ニ水ノ有ハ上ヨリシユル也

但此間脱簡アルカ左ノ文右ノ文言ト不合

一ヒニシ

カツフニ

鹿角

カニサケノ目

但生ニテシロス右四種ヲ合右ノ目玉出ハ
左ノ目ノ上付ルナリ左ノ目上出ハ右ノ目
上ニ付ニ妙藥ナリ但出目ヲワタニ包ミ風
シヒカヌヤウニスベシ

目ニ灸シスル事

一風門ニノ椎ヲハサムヲ各ニ寸充何ニモ用
ニ之脗即肺俞ニアカニケニヨシ

九ノ脰ソコヒニ吉又疳ノ虫ノ方ニヨシ
十一脰同ソコヒカニノ虫ニ吉

十四脰同ソコヒニ吉又八黒目ヒトミノ疾ニ吉

風市萬ニ吉 三里萬事ニ吉内障ニモ吉

絶骨女之目ニヨキ

疳ノ方之藥 但物ノ掛リタルニヨシ

一決明^{ケツノイ} 生ニテキサミ人ノ乳ニテトキ一日ニ二度
四度モサス^ベニ但馬ノ羽ニテモカミボナリニテモ

サスヘシ

頭下之事

一大黃一兩 當歸一兩 何モ等分ニシロヒ粉ニ

シテヨキ酒ニテ寐^{イヌ}ル時ニ醉^{イヌ}ホト吞^{イヌ}ニ枕^{イヌ}シ
ヒキクニテイヌルナリ

黃丹散 ^{イモハシカノ目ニ入テニケノアルニ}
^{吹藥}

一黃丹 ケイフニ 但イセヲシロイホ分ニ

右ノ藥ヲ右ノ目ニ入タラハ左ノ耳ニ吹又左

ノ目ニ入タラハ右ノ耳ニ吹竹ノ筒ニテ吹ヘシ
又出ヌ新ニ吹ケハ出ル事ナシ

玉入之事

二

天南星 一分
一朱

右唐工ノアブラノタウゴミノ上皮ヲ去テ又

白キウスヤウノ如クナル物ヲモサリテ
上皮ヲ去タル下ニ白キウスギ
皮アルヲ云

右ニ只ヲ柳ノ枝ノヘラニテ（本ノミ）ヤソクイ（本ノミ）ノコトクニ

右ノクスリヲ入推合一日ニアハツブホト柳ヤウシノ

先ニテサスベシ

丹珠散 紅珠散云

是ハヲサヘ藥之ウミ藥ノ時ハカリサスシウミ藥ノ
アイタニニ度サスベシ

一辰砂 一分

塩硝 一分口傳右能スリ合
三度サスベシ

丹珠散

是モヲサヘ藥之前ノ押ヘクスリシミ

タラハ此藥ヲサスヘシ此藥常ノ目ニモサスベシ

一白礬

二朱、中
タウサイ

石膏

一兩

寒水石 二分

麝香

一朱、中

生腦

一分又ハ
朱中

竜腦

一朱

丹

色ヲハ土器ニイリ紅梅ホトニモイル
右スリテ用ヘシ

白竜散

是ハ肉ニケニヨシ

一鵬砂一朱

炉耳

三朱

烏賊

一朱

竜腦少

加減

真珠

中朱

白凡

中朱

熱金之後藥

一石膏

芦岩

中朱

白凡少

丹少

麒麟血少

シヤカウ少

右ヨクスリ合セ用テ

突目之藥

一干姜

カニキヤウ

ヲヨクスリテ

麝香少

加ヘテ

乳汗テ

トキサスヘシ

赤目之藥

一麝香少

右常ノ如クスリテ用ヘシ

蓬砂散

同肉ニケ目ヒルノクスリ

一鳳砂二朱

白凡

二朱中

黃丹

同

紅塩

一分

麝香少

カスミ目之藥

一トナラ粉ニシテ付ルカ子ニテ乳ヲ少ク
テアカマケニモサスベシニ妙藥ナリ

真珠散

一辰砂一分 真珠一分 石膏一分 硃砂二朱

竜腦少 麝香少

右ニケ目ノ藥ニ吉

金露散 目ノカスム 吉藥

一真珠一分 石膏同 灵石一分

右常ノ如クニスリテ用

痘ノ目ニ入タルニ妙藥

一石膏二分 真珠同 灵石一分 白丁香二朱

貝石二朱 雀巢一朱 金鉞四枚 以上

目ニ物之立タル又キ藥

一黒山豆名魚サナケヲ粉ニシテ乳ニテ一日五度ハカリ其
ナリ是妙藥ナリ

大熱ニテ目ハレ血ノヒカヌニサニ藥

一 竜石 一分

竹霜丹

ニ朱竹ノ節ノ白キ取ラコソガ
テ使フニ

石膏 三朱

紅塩 少

繪具ニモアリ

竜腦 少

シヤ香 少 以上

痘目

上

掛藥ヲ蛤ノ汁ニテトキテス

ベシ又鉄醬 水少入テモサスナリ

目之ハタニウミカサ出テウムニバクサリ

藥リウ水ニテトキテ内ヘ入テ又ウミサスヘミ

青石散

タレ目ニ付ル藥ヲ内ヘ入
ヤリニサスベシ

一 青石

一朱但
ロクニヤウノ
事ナリ

石榴皮

一朱イカニモ
ヨク粉ニシテ

塩硝

朱中

右ヨクスルヘシ

五金膏

是ハ江州山畧藥ニ但クサリ藥トハ先
掛クスリヲシテミルニ一切キカサル時此藥ヲ

掛テ目ヲクサラカニサテ本藥ヲカケベシ但クサリ藥ハ
一日バカリ掛ルニ

一 生腦

二分又ハ
一分モ

塩硝

一分
ニ朱

麝香 少

辰砂

一分半
又一分
モ

鵬砂 少

丹 一分

竜腦 少

天南星

一分
一朱

熱金之大事

一鉄ノサキホソクニテ火氣ヲツヨクニテ白眼目
フチトノ間ヘニニ度ニテアテヘシ

一黒眼ヘ熱金アツルハアカ金カヨキニ外障ノ
アツキニアテヘシウスキニハ毎用ニ能ク心得

一黒眼ノスナワル事大事ニ爪ニカサリ
見テアトナキホトニ使ヘシ筋ヲ切テノ後水ニテ
ヤスヘシ藥ニハ真珠散ヲサスヘシ
一熱ハアカクテ上ハ上ツクニ五臓ヨリ起ルニ

一ヤミ目ニハ血バカリニテ筋ヤミ也

一血之道之目ハヤミノ如ニテ間ニ筋アリ

若列小瀆一毛存流也

目之内藥之事

一黃芩湯 血サシコシハレ熱氣スルニ吉

黃芩 桑白皮 等分ニメ可用ニ

一撥雲散 是ハ風ニアタリ目クウクニケノサシコム吉

一紫胡 羌活 防風 耳中 各等分

ハツカ 辛カウ キツクハ 是ヲ加ヘ可ク

當歸散 女人血ノ道ノ目ヲ治ス

一當歸 川弓 防風 白芍藥 熟地黃 荊芥

菊花 葛根 各等分 煎ニ服ス

洗眼散

一防風 二兩 白芍藥 日 黃連 二分 當歸 一分

カン菊花 以上煎服之

地黃湯 外障又ハ大カ之目古高ノ目吉

一當歸 川弓 地黃 荊芥 芍藥 防風

キヨハ 其中

加減之事

目ウツカハ白芷ヲ加大便ケツセハ大黃 牽牛子
ヲ加ヨヒ氣ハツテハシクハ人參ヲ加腹中痛ハ白朮
加ヨヒ外障有ハ木賊ヲ入ヨ目ニアカミサハ大黃
ケニデミヲ除クヘシニケスナ有ハサニニ、シ入ヨ男女共
吉又目クボミ車前子ヲ加ヨ艱生藥ハ香附子

羌活ヲ加ヨ以上

涼肝湯

外障ノヒトニニ掛リタル吉

一川芎

當歸

芍藥

防風

羌活

香附子

木賊

茯苓

車前子

サニシ

右各ニ一分充

其中少

右女人ニハ此

黄ヲ

加ヨ男ハ大黃ヲ加ヨ

人參散毒散

熱

氣ツヨクシテ頭カク

目クヲムニヨシヤミ目ニモ吉

一サイ

キケウ

人參

川芎

独活

茯苓

セニコ

右各等分其中少

加減之事

ハツカ

桑白皮

ケイカイ

右ヲ加テ製

人參湯

ソコヒノ内藥ニ

一川芎ニ兩

香白芷ニ兩

ニ分

セツコク

二兩(枳壳ニ)ニ分
キヨク
(ニツヨクニ)ニ分

ハツカニ兩

人參ニ兩

サニケウニ分

沈香ニ分

芍藥二兩 升麻一分 當歸一分 陳皮一分

右煎用へし

同内藥之事

一芍藥二兩 川芎同 當歸同 地黃二兩 防風二兩

セツコク二兩 レンゲウ一分 ヒヤク三分 ハツカ一分

沈香同 人參二兩 木ケウ二分 茯苓一分

右煎服ス

補眼湯 是ハ老眼ニ吉

一芍藥二兩 茯苓同 車前子同 桔梗同

人參同 細辛同 羌活二兩 荊芥同

防風同 以上煎常ニ用エハシ

知少之者疳ノ虫ノ内藥

一黃連二分 木香一分 升麻一分 川芎二分 ハツカ二分

菊花二兩 芍藥二兩 人參二兩 枳榔子同 其中少

右如常煎服

水藥之事

一ウコン 明礬 是ヲ等分ニメキケウ血ニ水
七分ニ是ヲヒタシテ七日鳥ノ羽ニテサスヘシ

洗藥之事

一白芍藥 當歸 黃連 各等分又荊芥

クコノ枝ヲモ加ルニ柘榴ノ皮ヲモ加ヘシ

香櫨散 熟ノ自一ケヲサシコムニ吉

一紫櫨 二兩 カウブシ 同 千二 二兩 井中少

加減之事

一川芎 白芷 前胡 ヒトモチノシロミ 葱白 但前胡ヒトモジハ目

ノ藥之時ハカリ用シ

上々之頭下

一大黃 一兩 當歸 同 是ヲ抹メ能酒ニテ下戸上戸

ノ嫌イナク少醉ホト用ヘシ但寐サニニ可用

若列小瀆一毛存

目ニ通テ慎ムヘキ事

一生ニテ五辛不可服

一熱キ物熱キ麪類酒多飲スヘカラス

一服ヲ勞シ遠所ヲ不可見日月ノ光守ルヘカラス

夜ル星辰ヲ守ルヘカラス細字ヲ不可見

一淫事ヲオカスヘカラス

一月ノ光ニテ書物書ヘカラス細工スヘカラス

一ソ、ロニ物ヲ書ヘカラス博奕ヲ好ムヘカラス

一煙リニ當ルヘカラス

右ケ條ハ眼ヲ暗クスル基也能々是ヲ

慎ムヘシ此外猥渎^{カセキ}努力^{カセキ}カ日夜不休皆

目ヲ傷ル基也一時心ヲホシヒミニテ百病

病ヲナス事ヲロカニ能々可慎也

禁物之事

一小麦類油物芋類角小豆独活^{クハ}

蕨芥クキ立土筆胡瓜

炒大豆瓜豆腐五辛ニニニ

芥 カラシ

山椒 ノ芽

カニ皮

餅

團子

蓼

生大根

胡椒

薑 ハシカミ

コニヤク

蓮根

干甘

青ソバ

梅類

ヤニモ

生栗

カキ栗

椎

鶴 ツル

白鳥

鷹 カニ

雉子

タヌキ

兎

但熱ノ物皆
アシキ

鰯

鯖

鰯

カニ 鮭

生鮭

ブリ

イルカ

十二ズ

鮪

鮎

ハエ

雜喉

トキヤウ

スルメ

海老

クナラ

鮓類

カレイ

サメ

イサ

干魚

ヒラメ

好物之事

一菜

アサミ

アカサ

白瓜

カタ瓜

アヲメ

昆布

カタノリ

アヲリ

ワカメ

カキ

十シ

リニコ

カヤノミ

ギス

カラス

コチ

カチ首

モグサ

アチ

ニシ

サハ

蛤

イリコ

ノシ

串炮

内藥拵様之事

一菊花 平 黄ナル花ノ井キヲ使フニ陰乾シメ

一人参 ビカン ビウニ キサミ焙リテ用之

一坤中 平 ジン 水ヲ下ニハ生ニテ用此外ハアツ灰ニ轉シ

一白朮 温 セテ短キヲ云ニ 蒼朮セイ朮ニ云 蒼朮ハ肥テ堅白朮ヤ

セテ短キヲ云ニ サウボハ汚ヲ出ヌセイアリ焙テ使

一地黄 生ハ大寒 熟ハ酒ニヒタシ用 生ハアブリテモ使シ

一羌活 セウニ 若根ヲ羌活ト云古根独活ト云焙リ用

一升麻 大寒 キサミ焙ル

一車前子 寒 炒テ使大ハコノミナリ

一澤泻 寒 酒ニ一夜ツケテ焙ル 腎藥ハ酒ニツケ五冷

散ナトニ其終用ルニ

一細辛 温 小辛ニ云焙ル

一石斛 コク キサミ 根ヲ云一夜酒ニヒタシ焙リ用

一川芎 ウニ 日ニ乾火ヲイム 但若キヲ芎藭ト云

常ノ藥ニハ是ヲ用

一黃芪

ビ寒、塩水ニテ洗キサミ焙堅ク重キヲ用

一黃連

ビカニキサミ焙リ用

一防風

ウチ日ニ乾テ使

一蒲黃

平

香色ニ炒血ヲヤフリ腫ヲ去ニハ炒ス血ヲ養フニハイル

一葛根

大寒

キサミ焙ル

一當歸

大寒

酒ニ一夜ヒタシ焙ル

一木通

平

通草ニ通脱木共云キサミ焙ル

一芍藥

ビ平

鉄氣ヲ忌ム

一白芷

温火ヲ忌

一黃芩

大寒

火ヲ凶薑汁ニヒタシ使フ

一胡荽

寒

キサミ焙ル

一防己

ビ平

キサミ使フ

一三稜

平

酢ニシハニツケテ用ル

一莪朮

右ニ同シ

一薄苛

ウ

葉ハカリ使火ヲ忌

一大黃

大寒 キサミ焙 老人ニ用ルニ紙ニ包水ヲ以テシメ
シテ灰ノ中ニテムメ用エ胃ノワルキ人ニ酒ヲ
ソ、キテ土器ニ入ニ製メ使シ

一桔梗

ヒカン キサミ焙リ使フ

一連翹

寒 キサミ使

一沈香

ヒカン 黒ク重キヲ使フ

一乳香

ヒウシ 赤クタキ粉ニシテ使酒ニテ子リニ
使

一桑白皮

寒 キサミ焙リ使フ

一竹葉

寒 カヲ竹ノ節ノ白キ取ヲコソケテ使

一栴檀子

温 火ヲ忌キサミ使フ

一キコク

水ニ付實ヲ去リキサミ焙ル

一蟬脫

温 口幣ト足トラ去テ使蟬ノカヲニ

一青皮

温 焙リ使フ

一杏仁

温 水ニ一夜ツケ中ノ白ミヲ去テ使イリテ用エ
(皮ヲ去リテ白ミヲ使フハミ落字)

一紫蘘

寒 莖ヲ去葉ヲ用火ヲ忌

一荊芥

温 實ト葉ヲ使

一香附子

鉄ト式ヲ忌

石藥拵様之事

一 竜腦 糯米ヲ炒テ紙ニ包ミ其中ヘリウノウ紙ニ包ミ

入アタマニ一リノ有程置テタマヘ目ノ寒熱ヲ不論用之

一 麝香 イカニモカレテヨバキヲ用エ

一 炉甘石

正字ニ

黃連ヲ煎出ノ其汁ニツケ土器入燒付テハヤキ七度
ニテ水ニヒタシ用

一 石膏

熱湯ノ上ニ一時程台ニテ又飯ノ上ニ紙ニ包テ置キ
炮ス其後直ニ火ノ上ニ置テ一時ホトヤキテ水ニヒタシ用

一 焰消

正字

天目ニ水半分ホト入テ煎時天目ノハタニ付タル
用ル沈ミタルヲハ不用天目ヲ即火ノ上ニ置之

一 生腦

此燒様四色有

天目燒 湯燒 ツ、燒

腎燒 各口傳

一 寒水石

土器ニ入テイル時石ハトヒ出テ跡ニ残タル
其後水飛ノ用

一 眞珠

土器ニ入テ色ノ替ルホト炒テ紙ニ包ミテ

雨タレノ底一尺ニ埋メ三日目ニ取出シホクタキニテ

使也但土器ニ入テ炒トキ大バコノ葉ヲ敷シ

一 滑石

土器ニテ燒其後水飛メ用ニ但日本ノハ燒ス
ニテ水飛スヘシ

一蓬砂

土器ニテ二ホス裡焼ニ土器ニテソト製テ使ヘシ

一牡蛎

イカニモ白ナルホト焼テ用エ

一明礬

土器ニ入テ火ノ上ニ置時トケテ湯ニナル其上火ヲ置テ水ニ浮ク裡焼ヘシ

一竜石

土器ニ置テイカホトモ能焼ヘシ但其終モ使

一辰砂

土器ニテ焼テ使ニ色ヲ去ヨク水飛メ用之

一虎膽

土器ニテ煎テ使ヘシ

一光明丹

水飛メ使ヘシ

一菊明石

能焼テ使ヘシ其終モ使ナリ

一ジャカン石

是モヨク焼テ用生姜ノ根ノ事ニ十月霜月取ナリ能タキヒニキテ水ニ立テイサセテ

使ヘシ

一燕糞

千リノ十キ様ニヨリテ使ヘシ但ツハメノフシニ

一杏仁

紙ニ包テ油ヲ取テ使

一梅干

紅梅ヲ本トス上皮ヲ去テ肉ヲ用ル

一白物

伊勢ヲシロイヲ使フニ

一カイケニ錢

梅ノ酢ニ七日漬テ緑青ヲ出シテ使ナリ

一バイ石

ヨク焼テヌリ使ニ

一虎肉

コニカニキサミ焙リ使ヘキニ

一沈香

黒キヲ用水ニ入沈ムヲ上ス

一袋角

土器ニ入炉ヲヌリフサキテ焼ニ

一鹿角

同如クニ焼ニ鹿ノ角ノ事ニ

一雀脂

ス、ノノアカ子ニ紫ト足ヲ切テ梯ノヘテ

ニテ押付能々于テヲロシ使也

一石決明子

是ハ蛇ノ貝ノ事ナリ黒焼ニシテ使ニ

上ニ弟一二用ニ但ミ、ノ赤ツキヲ使ニ

一石決明石

是ハ蛇ノ黒ミノ事ニ黒焼ニシテ

諸事ニ吉

一草決明子

是ハ草ノ實ニソバニ似テ三角ニ

ソト炒テ皮ヲ去使ニウツク目ニ用ニ

一

雀貝 平寒塗タル折敷ニ玉子ヲ置テホヒニギ

売ヲ去中ノフノリヲ折敷ニ乾付後ニヘテニテコソ

ケ取テ用雀ノ玉子ニ

一白頭ハラス

平ニ紙ノ中ニ有物ノ本ナトニタツ出ナリニミ
ト云出ニソノニ、スリテ使ニ黒目ウハヒニ

ヨシ

一代砒石

平寒 土器ニテ焼ニ目ヲス、シクスル藥

一灵石

平ハカスミヲハナシウハヒラ去星目ニヨシ

目ノ中ニ患瘡出タルヲニキ出メ底ノウミラ

吹出ニ又ハ瘡ノ目ニ入タルニ吉何ノ目ノ藥モ

分別ニテ少充入ヨヨク焼テ二度ハカリ水飛

セヨツヨキモノナリキツクニム藥ナリ

一セキヤウニウ 目ノシホリヲ真藥ナラニテイルナリ

一竜骨

平ウハヒ星ヲ晴ス能焼用。

一竜石

大寒 大熱ノ目ニ使ニ其終用之

一麒麟血

キツ目ニ加事有何ノ目ニモ加減スルニ

ヤメラ止ル小兒ノ疳ノ目ニハ真珠キリン血石

膏シ加也

一竹霜母

大寒 目ヲヒヤス其終使之

一白丁香

平雀ノ糞ニ白所ハカリヲ用土器ニ入
口ヲ塗ヤキカワニケニ吉ウミラ吹惡血

ヲ除ク目ノ腫テイロコノヤウニツハミ出ニヨシ
蓬砂ト藥生同事

一天南星 根ヲ皮ヲトリテサメニテシロシクサリ
藥ニ入ナリ

以上

右若列小濱一毛奇相傳如此也

五金膏

一龍腦小 生腦小 真珠中 天南星中

明小 唐工油ニテ煉ル

上皮タレテヒツカサル時サスヘシ

虚眼カスミテ見ヘカタキヲ暗ス藥

一代礞石 石決明石中 角石中 滑石中

竜ニ令

廣三分

右子リ藥ナリ

熟

炉耳

白
儿
少

冊
少

鹿其
鹿羴
血少

鹿射香少

上

内障之針ノ後用藥

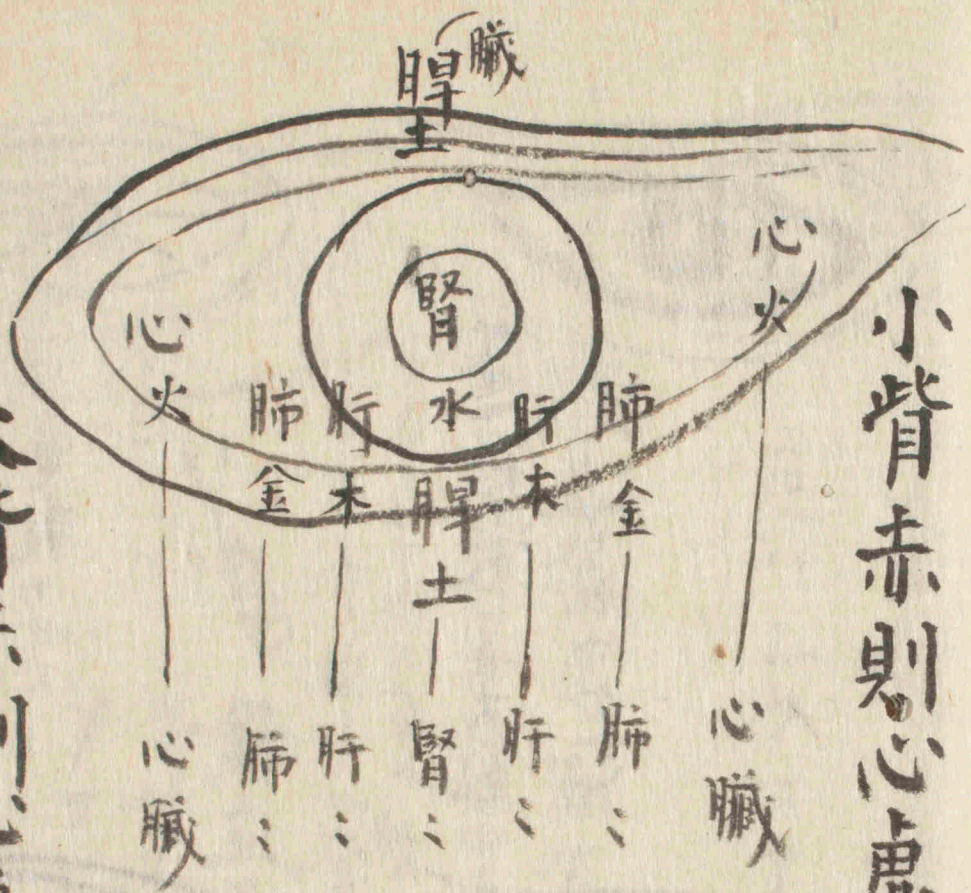
又此藥突目

雀之血
三テサスヘシ又乳ニテモ用ル

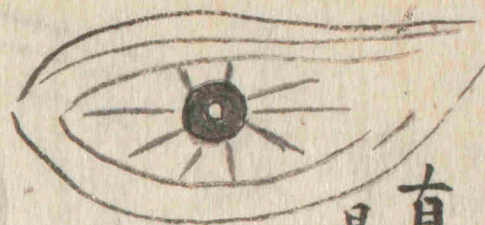
年ニ押テ強クウツカハスノ針ヲ用ヘシ

針深ク入テウツカハ筋ヲカケキリニシテ眞珠散ヲサス

小背赤則心虛



大腎赤則心虛



真珠散ヲサスヘシ
是ハニケニケク
白竜散ヲサス
ヘシ



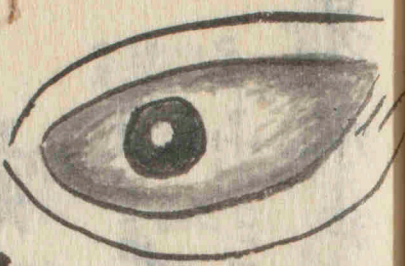
宝明散ヲサスヘシ
是ハニクニケナリ
白竜散ヲモサスヘシ



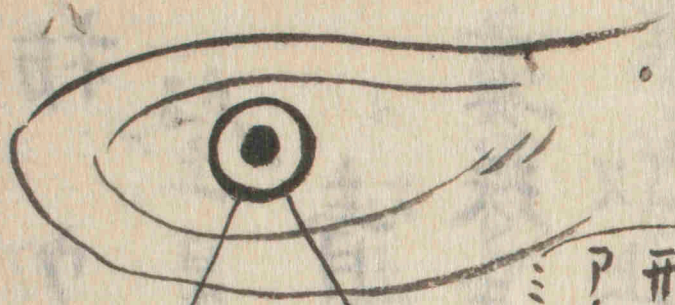
蓬砂散ヲサスヘシ
是ハフキニケシ



五灵膏ヲサスヘシ
但是ハヤミメシ



白竜散ヲサスヘシ
是ハニラニケナリ



右五眼之圖大概ヲ起ス中ハ黒眼トヒトミトノ
形ノ大方ニ只白眼ノ中ノ圖形ハカリ邪氣ノモヨウヲニメス
アカ色ニ圖スヘキヲ暫ク薄墨ニ記スモノニ惟邪氣ハカクヲ
ミセニカキノ圖トミルヘシ黒目トミハ邪氣ノ形ニ非シ

針立ル事白眼ト黒眼ト間ハ鍼

ヲサスベシ

ソコヒノ針ノ一ノ口傳アリ

針ノタテヤウ如此ナリ

一枋 ウコニ

柘榴皮

唐土ノ實

郊木皮 ウツキ

以上星上皮世ニ散スナリ

青山藥クサリ目ニヨシ

一真珠天

蛎天

蛇骨 三分

貝 一大竜一分

以上

突眼ノ藥

一髮ノ毛ヲヤキテ乳ニテトキ入ル乳ノ十キ時并

ヲ出シテ入ルニ妙ニ

寛永廿一年三月廿八日書之畢

側ニ 正保元年

表紙ノ端ニ何レ目症ニ用ルモ毎之記左方

一口カニ石 一兩

寒水石 五分

ニヤウ腦 六分ニエ

右密ニテ棟ル

一寒水石 一兩一分焼テ

炉耳石 一兩焼テ

ニヤウノア 一兩焼テ 朱 五分

以上

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some faint smudges and discoloration, characteristic of old paper. There is no text or other markings on the page.

五

